

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立生駒中学校 ）



実施日 及び  
実施期間

令和3年10月27日～11月15日

実施内容

## 「本と図書室に親しもう」

- ・ 図書5冊貸し出し  
ふだん2冊まで貸し出しの図書を、読書週間中は5冊貸し出しに変更しました。
- ・ 図書委員会活動強化  
図書委員会主宰のスタンプラリーを企画し、景品として手作りのしおりなどを作成しました。

児童生徒の様子

- ・ 5冊貸し出し期間中は、シリーズ作品などをまとめて借りる生徒が多く見られました。
- ・ 図書委員たちは、企画会議やしおり作りなど積極的に取り組みました。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

- ・ 直前に一年生向けのビブリオバトル実演をしていたこともあってか、ふだんあまり見かけない生徒も図書室を訪れていた。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒南中学校 ）



# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立北小中学校 ）



実施日 及び  
実施期間

令和3年10月28日～11月30日

実施内容

## 「先生のお薦め本！」

中学校の先生方に、お薦めの本の紹介と中学生のときに読んで印象に残った本があればそれも書いてもらいました。

図書委員が各学年担当の先生方にアンケート用紙を渡しました。アンケート用紙はそのままラミネートして展示しました。展示も、図書委員がしました。

校長先生、教頭先生、担任の先生には、図書委員がインタビューして用紙に書き込みました。校長先生や教頭先生にインタビューした図書委員は、ずいぶん緊張したようです。その模様は図書館便りに載せて、先生・生徒・5,6年生の児童に配りました。

紹介された本も一緒に展示してあります。蔵書にない分は、生駒市図書館から借りて展示しました。



児童生徒の様子

中学生も小学校高学年の子らも先生方の紹介文を熱心に読んでいます。このコーナーの本は、やはりよく動きます。校長先生が紹介された『論語』を小学生が借りていったのには驚きました。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

インタビューを受けた校長先生も教頭先生もとてもていねいに応対してくださったので、それまで遠い存在だったのが少し身近に感じられたのではないかと思います。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立緑ヶ丘中学校 ）



実施日 及び  
実施期間

令和3年10月27日～11月9日

実施内容

## 「最後の頁を閉じた 違う私が出た」

- ・図書館、昇降口など数か所に「読書週間」告知ポスターを掲示
- ・〈図書館だより〉11月号にて予告
- ・イベントとして“本の福袋”・栞/ブックカバーの配布“を実施
- ・図書委員企画の特集「映画の原作／ノベライズ」のコーナー設置

※本の福袋の詳細

図書委員が選書ならびにヒントカード作成

※栞/ブックカバーの配布詳細

図書館マスコットキャラクターのイラスト入り3色

出版社付録の栞を活用

読書週間の素材利用のブックカバー(文庫版)

児童生徒の様子

“本の福袋”のヒントカードに大変、興味を示していた。

2学期開始以来、給食無し/午後のオンライン授業と忙しいスケジュールの  
為か昼休みの利用者が激減し、そのままの状態が続いている。(ぜひ改善したい)

取組後の変容

(子ども・家庭・教師)

福袋や特集から新しい本と出会い、それが興味や視野の広がりにつながっている。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立鹿ノ台中学校 ）



実施日 及び  
実施期間

令和3年10月20日～11月20日

実施内容

## 「さまざまな分野の本を読んでビンゴをそろえよう！」

日本十進分類法の10種類の本と、先生のお薦め本、エコの本、生駒市図書館発行の中学生向けブックリストの本、絵本・写真集などの本を読んで、升目にハンコをもらいます。一列そろえば素敵な景品をプレゼント。パーフェクトの人はブックカバーがもらえます。



先生のお薦め本はワゴンに集めて、いつもは書架に貼ってあるメッセージカードと共に展示

各NDCごとに学校にある本のカードを作り、本選びの一助としました

景品のメインは、美術部員が作ったNDCキャラクターをあしらったしおりです



児童生徒の様子

最初は様子見だった生徒たちでしたが、こちらが声を掛けて1年生がやり始めると、次第に興味を持つ子が増えていきました。図書室に来ることが少なくなる3年生の中にも、ちょっとやってみようかなという子が何人かいました。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

NDCごとに作った本のカードを持ってきて、この本はどこにありますかと聞いてくる生徒もいて、小説だけでなくいろいろな分野の本が図書室にはあることがわかってもらえたようです。図書室を隅々まで歩き回って、なるべく読みやすそうな本を選んでいる姿はほほえましいものです。



# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立上中学校 ）



<p>実施日 及び 実施期間</p>	<p>令和3年11月8日～11月12日（POP展示は11月1日～12日）</p>
<p>実施内容</p>	<p><b>「おうちの方への貸出会及び1年生読書POP展示会」</b></p> <p>目的：・生徒の読書活動や上中学校の図書館活動に対する保護者の理解を得るため、上中学校の図書館を見学してもらうと共に、家庭での、家族での読書を促す。 ・文化発表会の展示と読書週間の一環として、1年生が国語科で作成したPOPの展示会を併設し、POPで紹介された本も展示して、貸出を促す。</p> <p>方法：・生徒の貸出カードを用いて、保護者に図書館の本を4週間5冊まで貸出。 ・市図書館北分館からの集団貸出により、保護者用の資料（文学、実用、教育関係）を多く準備する。 ・3年生の保護者は三者懇談の来校時。 ・1, 2年生の保護者には申込書を配布して来校予定日時を確認。</p> <p>1年生の読書POP展示会は、文化発表会の展示と読書週間の一環として開催し、POPで紹介された本も展示し、貸出を促す。コロナ対策としては、マスクの着用、図書館入口での手指の消毒をお願いした。また、事前に申込書を配布し来校予定日時を把握することで、人数の確認や滞在時間を分散するなど、コロナ対策の一助となった。</p>
<p>児童生徒の様子</p>	<p>POP作品はどれも工夫をこなしたもので、生徒達もじっくりと見て、作品と共に展示した本を借りていく姿も見受けられた。やはり、POPのインパクトで普段は読まないジャンルの本を読むきっかけになったのではないかと思う。また、保護者向けに準備したセット本（ランダムに3冊をまとめたもの）を生徒が借りる様子から、世代を超えて読みたい本があるということを確認した。</p> <p>おうちの方への貸出会では、保護者と共に来館し、おすすめの本を紹介しあう様子も見られた。</p>
<p>取組後の変容 (子ども・家庭・教師)</p>	<p>今年度3度目となる家族貸出が、少しずつではあるが、保護者、生徒に浸透してきているように思う。今回の取り組みで、22組の方々の参加を得ることが出来た。これからも、恒例行事として取り組んでいきたいと思う。</p>

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立光明中学校 ）



実施日 及び  
実施期間

令和3年11月8日～11月19日

実施内容

## 「様々な本にふれよう！！」

様々な本にふれるために、本校では二つのことに取り組んだ。一つは、全校生徒が作成したPOPの掲示である。夏休みの宿題として取り組んだPOPを図書委員会で選定し、各クラスから金賞1つ、銀賞を2つ選出した。それら3つのPOPに、学級全員のPOPを図書室に掲示し、生徒の読書意欲を喚起した。

二つめは、中学1年生でビブリオバトルを大瀬中学校と合同で授業に取り組んだ。Google meetを用いて、大瀬中学校の松下教諭は伝える力、本校の篠原は質問する力の育成を目指した授業を行った。それらを踏まえて、各校でビブリオバトルを行い、12月上旬に代表者2名を選出して、合同でビブリオバトルを行う予定である。



児童生徒の様子

POPの掲示を見ながら友達同士で「読んだことある！」「図書室で借りよう～」など楽しみながら見ていた。その後、図書室で本を借りる生徒もおり、読書意欲の向上がうかがえた。またオンラインでの合同授業では、初対面ならではの緊張感を感じつつも、意見交流を行っていた。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

本校では朝の読書に取り組んでいる。POPや合同授業を通して、より集中して読書に取り組む生徒が増えた。今後も、継続して主体的に読書する生徒の育成を目指したい。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立大瀬中学校 ）

